

クラスター	臓器発生・再生系クラスター			
授業科目名	皮膚の再生医学・実習			
担当者名	責任者	河野 通浩	分担者	—
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	実験実習		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

**授業の概要・到達目標**

授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。とくに皮膚科領域における臨床的活動を通して得られた仮説を実験的に検証することにより, 医学者として総合的に人間と疾患との関係を捉える能力を開発し, かつ研究の概念を体系として理解することを目指す。

授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。

**授業の概要:**

1. 遺伝性対側性色素異常症について
2. 遺伝性汎発性色素異常症について
3. 網状肢端色素沈着症とdowling-degos diseaseについて
4. アトピー性皮膚炎の関連遺伝子
5. 蕁麻疹の関連遺伝子
6. 拘束性皮膚障害について
7. モザイク皮膚疾患について
8. 遺伝子診断の実際(1)
9. 遺伝子診断の実際(2)
10. 遺伝子診断の実際(3)

**授業計画**

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	遺伝性対側性色素異常症について	河野 通浩	皮膚科学・ 形成外科学 〔皮膚科図書室〕
2	遺伝性汎発性色素異常症について	河野 通浩	
3	網状肢端色素沈着症とdowling-degos diseaseについて	河野 通浩	
4	アトピー性皮膚炎の関連遺伝子	河野 通浩	
5	掌蹠膿疱症と乾癬の関連遺伝子	河野 通浩	
6	拘束性皮膚障害について	河野 通浩	
7	モザイク皮膚疾患について	河野 通浩	
8	遺伝子診断の実際(1)	河野 通浩	
9	遺伝子診断の実際(2)	河野 通浩	
10	遺伝子診断の実際(3)	河野 通浩	

**授業形態および成績の評価方法・基準**

講義室での実習30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。

**問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)**

河野 通浩, miro@med.akita-u.ac.jp

**その他特記事項**

履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: ヒトの分子遺伝学 第4版、メディカル・サイエンス・インターナショナル  
ISBN: 4895926915

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。